

令和元（2019）年度 栃木県浙江省友好交流員レポート（1月分）

栃木県浙江省友好交流員 橋本和加子

●春節

早いもので杭州市での生活も残すところわずかとなりました。学校の方は、1月上旬に期末テストがあり、テストが終了すると同時にお休みに入り、帰国する留学生が多くいました。もちろん帰国しない留学生もいますが、これまで賑やかだったフロアが静かなのを見ると、少し寂しい気がします。中国人の学生も、春節を前にスーツケースを引いて歩く姿が多々見受けられました。

春節（1月24日から1月30日の7日間）が始まると、校内の食堂は1ヵ所以外すべてが閉まり、人影もまばらで非常に静かになりました。12月中の不確定情報では、大学内の食堂や周辺の食事処が全て閉まると聞いたため、食料を確保しなければならぬと思っていましたが、実際には校内1ヵ所の他、大学周辺の食事処も多数開いていたし、歩いて10分ほどのスーパーも無休で営業していたので、食事には困りませんでした。

●研修旅行

期末テストが終わってすぐ、5日間の浙江省内研修旅行がありました。事前に希望研修先を聞いていただき、希望として挙げた場所のいくつかに行っていただけることになりました。

栃木県の他、静岡県と福井県の友好交流員さん、それから韓国から派遣されて来ている公務員の方1名と一緒に研修旅行となりました。

《日程》

- 1日目：卢宅 → 横店影视城（秦王宮・夢幻谷） ※金华市东阳市
- 2日目：金华双龙洞 → 兰溪诸葛八卦村 ※金华市婺城区と金华市兰溪市
- 3日目：龙游的民居苑 → 龙游石窟 → 龙天红木小镇 ※衢州市龙游县
- 4日目：江郎山 → 廿八都古镇 → 枫岭关（仙霞古道） ※衢州市江山市
- 5日目：帰途

※中国は省の中に市があり、市の中に市轄区・県級市・県などの分けがあるため、一部が『〇市〇〇市』という表現になっています。

どの場所でも現地のガイドさんが中国語で説明をしながら案内してくれました。聞き取れないこともありましたが、おおよその内容は把握でき、とても勉強になりました。

【卢宅】・【龙游的民居苑】・【廿八都古镇】は、歴史の長い伝統的な建築物が数多く保存されている場所でした。いずれも印象的だったのは、その広さと迷路のような配置と彫刻です。また、明清時代の建築物で窓がないため、明かり取りのための家の作りが特徴的でした。

卢宅の最初の門（この後9つの門を通る）



江南建築『民間故宮』とされています。

精巧な彫刻



お金持ちの家ほど彫刻も素晴らしいそうです。

【横店影视城】は、日本で言うところの映画村のような場所ですが、东阳市内のあちこちに施設が分散しています。我々は秦王宮・夢幻谷の2ヵ所を案内してもらいました。秦王宮では数多くの映画やドラマが撮影されています。（李连杰主演の『英雄』や、日本映画の『キングダム』の一部、実写版『ムーラン』なども）

【金华双龙洞】は、金華山麓にある風景旅行区で、複数ある見所の内、2つの洞窟と黄大仙祖宮という道教の寺廟を見学しました。森林公園と一体化しており観光と自然の両方を楽しめる場所です。



秦王宮の広場



【兰溪诸葛八卦村】を高台から見た様子

【兰溪诸葛八卦村】は、諸葛亮（孔明）の子孫が住む村で、村民の80%ほどが諸葛姓だということです。村の様相は中心にある太極を模った钟池から放射状に8本の道が延び迷路のようになっています。これは27代目の諸葛大獅が『九宮八卦』の配置を考えたもので、防衛性が高かったため、明・清時代の建物が数多く残っています。また、先祖代々医者が多く、漢方薬などについて説明している施設もあります。

【龙天红木小镇】は80億円をかけて開発したという場所で、紅木（数種類の貴重な樹木）で釘を一切使わず作られた建造物が印象的でした。

今回の研修先でもとても興味深かったのが【龙游石窟】です。

龙游市にはたくさんの水に埋まった洞窟があり、1992年に地元の人とその内のひとつの水を抜いたところ、写真のような状態になっているのがわかったそうです。こういった洞窟が36カ所あり、現在は5カ所のみ公開しています。「いつ、誰が、何の為に、どのように作ったのか」がわからず、『世界9番目の不思議』とされています。中に入って見て、人口的に作られたものなのに彫られた岩の痕が均等だったり、明かりがない中、松明を焚かずにどうやって彫ったのか、石や岩はどのように運び出したのか等々、とにかく謎だらけだと思いました。



そして、特に楽しみにしていたのが2010年に浙江省初の世界自然遺産として登録された【江郎山】。自然が豊かで国家一級保護動植物が5種、国家二級保護動植物が20種いるとのことで、いろいろと確認したかったのですが、生憎の雨で歩くだけで精一杯でした。晴れていれば麓からも見える山はすっかり雲の中で、近くまで行ってようやくその姿を見ることができました。



この場所に立った時は圧倒されました。



幅3.5m～5m程、高さ298mの【一线天】



右の山影が【郎峰天游】、真ん中が【登天坪（亜峰）】、左の山影が【霊峰】、3つの山が川のように並んでいることから【三月石（サンパンシー）】と言います。

2010年に中国丹霞地形のひとつとして世界自然遺産に登録された江郎山。

※丹霞地形とは、赤い堆積岩で形成された地形景観を表す用語で、江郎山は壮年期から老年期の丹霞地形の代表とされています。

江郎山には、江という姓の3兄弟が山に登り3つの巨大な岩になったという伝説があります。主峰である郎峰天游は海拔819.1mあり頂上まで登れるのですが、今回は上右の写真を撮影した場所までで下山しました。いつかまた行きたい場所のひとつです。

【枫岭关】は、仙霞古道と言う行商など人々の往来が盛んな重要な道の途中にある、いわゆる関所です。浙江省と福建省の境目にあり、遣唐使として中国に派遣された空海（弘法大師）も通った古道で、古道脇のお堂には空海の銅像があります。こういった関所は周辺に10カ所あったのですが、現存しているのはこの枫岭关と仙霞关の2カ所とガイドさんが言っていました。枫岭关近くの国道沿いには、浙江省・江西省・福建省の堺の石柱表示が建っていました（下の写真を参照）。

枫岭关



空海の銅像



浙江省・江西省・福建省の分岐を示す石柱

4泊5日の研修旅行は、お天気に恵まれませんでした。短期間でいろいろな場所へ連れて行っていただき、中国の歴史の長さや深さ、伝統、重要文化物等の保護・保存と日常生活の独特な融合の仕方などを十二分に感じることができ、勉強になったとともに非常に良い経験となりました。機会があったらまたじっくり見学に行きたいです。各地域で案内して下さった市政府の方々やガイドさんには、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。また、皆さんと中国語で交流できたことは、この半年でわずかでも自分の中国語が上達したことを実感でき、自信となりました。